



## 思いやりの心を大切に

校長 古屋 澄人

4月19日「やさしいえがおの恩田小へようこそ会」(1年生を迎える会)が行われました。

昨年度の計画委員会の子どもたちが中心になって計画しました。6年生の代表が1年生を誘導して入場し、1年生を迎える会が始まりました。

学校を紹介する〇×ゲームでは、給食や学習のことについて分かりやすく伝えていました。友達を広げていくゲームでは、6年生はペアの1年生と手をつなぎながらゲームに参加し、1年生が安心して参加できるようにしていました。他の学年もそれぞれの役割を確実に果たしていました。5年生は、ステージの看板作り、3年生は花のアーチの準備、2年生は1年生へプレゼント(遊びカード)を作りました。そして、4年生は合奏を担当して1年生を迎える会を盛り上げました。この1年生を迎える会では、一人ひとりの子どもたちが1年生のことを大切にし、歓迎しようとする気持ちがあふれていて、とてもあたたかい会になりました。



集団で生活したり活動したりすれば、もめごとは必ず起きます。あつてはならないことですが、本校でも「いじめはどこの学校でも起こりうる」という認識に立ち、「いじめは絶対に許されない」という姿勢をもっていじめ防止に向けて取り組んでいます。いじめの防止は、なによりも思いやりの心を育てることが大切であると思います。挨拶や返事をしっかり行うことは「あなたのことを大切にしていますよ」という表れであることにつながります。今回の1年生を迎える会では、1年生を大切にした取組が見られました。また、児童会活動では「笑顔で広がる心の輪」を児童会のスローガンにして恩田小学校を笑顔でいっぱいにして心の輪をつくっていきたいという取組を進めています。

先日の朝会で、子どもたちへ「友達の心を大切にしてほしい。人の体や心を傷つけるいじめは決して許されることではありません」という話をしました。そして、子どもたちとは、3つの約束をしました。

- ①いじめは絶対にしないこと
- ②友達を一人ぼっちにしないこと
- ③いじめられている友達を助けること(身近にいる大人に伝えることなど)

学校の役割は、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるような環境を整えることだと思います。先日、文部科学大臣からのメッセージを子どもたちおよび保護者の皆様に配付いたしました。被災した子どもたちに限ることなく、全ての子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、いじめがなくなるように教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っています。保護者および地域の皆様におかれましても、学校と連携しながらいじめの防止に向けてご協力をいただけますようお願いいたします。